

令和6年度事業計画書

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

令和6年度の事業活動は、令和4年6月1日に改正した定款に基づき、令和6年5月21日に開催予定の通常総会で再編する組織体制にて、新たな役員を選任して事業を推進する年度となる。

令和6年度は、新型コロナウイルスにより大きな影響を受けた本会の運営を立て直すとともに、急激な国際社会の変動を確実に捉え、新しい潮流を敏速に取得し本会の公益事業に反映する。併せて、不特定多数の国民のために、定款第4条に掲げる公益社団法人としての事業活動を余すところなく実行する。

本会の会員が、JATETの存在意義と会員である事を実感し、誇負できる公益活動を活発に行うとともに、本会の活動を積極的に全国に向けて訴求する体制を強化する。

令和6年度に実施する具体的な事業計画は次の通りとする。

1. 会議

1) 総会

令和6年5月21日（火）エッサム神田会議室に於いて開催予定。

協会の最高機関として、定款第52条(事業報告及び収支決算)に則り令和5年度事業報告、収支決算報告に関する承認決議を行う。令和6年度役員改選の件につき、定款15条(権限)第1項に則り、立候補者1人につき1議案として選挙を実施する。

また、第51条(事業計画及び収支予算)に則り令和6年度事業計画、収支予算書の報告を行う。

2) 理事会

定例理事会を年4回開催し、協会運営に関する重要事項を審議し、業務の執行を決議する。

2. 委員会

1) 事業執行連絡委員会

定款第58条(委員会)に則り、理事会の諮問機関として、執行理事及び部会長で構成される事業執行連絡委員会を毎月1回、年12回開催する。年間事業計画に基づき理事会で承認した事業を執行し、理事会と部会の緊密な連絡を諮る。

3. 各部会事業計画

令和6年度における所属各部会の主たる事業計画は次の通りである。

1) 教育研修部会

劇場、文化施設の繁栄に努め、公益社団法人として社会貢献できるように取り組む。

[事業計画]

(1) 部会を原則月1回開催し、新設、改修された劇場、施設の情報収集する。

(2) 新設、改修された劇場・ホール及び、次世代の演出空間のトレンドを研究すべく、建設計画著しいアリーナ施設やスポーツエンタメ施設についても着目し、年4件の施設見学会の企画運営とジャーナルの取材発行を行い、広く皆様へ紹介できるよう活動を進める。

〈見学会検討施設〉

- ・あきた芸術劇場
- ・石巻市複合文化施設
- ・茨木市民会館
- ・磐田市文化会館
- ・平塚文化芸術ホール
- ・スカイシアターMBS
- ・四万十市文化複合施設（24年4月OPEN）
- ・東京ガーデンシアター

〈ジャーナル検討施設〉

- ・那覇文化芸術劇場 なは一と（23年度より継続）
- ・高崎芸術劇場（23年3月見学会開催）
- ・山形県総合文化芸術館 やまぎん県民ホール（23年6月見学会開催）
- ・水戸市民会館（24年1月31日見学会開催）
- ・小田原三の丸ホール（2月22日見学会開催予定）

2) 建築部会

部会を原則月1回開催し、次に掲げる調査研究を実施する。

調査研究

- (1) 劇場・ホールにおける各部計画のガイドライン作成(R4年度からの継続)
- ・劇場・ホールの設計・建設時において、ガイドライン（指針）が曖昧な箇所は少なくない。
- ・特に、近年の安全面に関する規定が厳格化される一方、それに対応したガイドラインが明確になっていないなど、時代の変化の状況に追いつけていないという面も否定できない。
- そこで、劇場・ホールの各部の内、特に重要と思われる箇所等をピックアップし、JATETとしてのガイドラインを策定することを目的とする。
- ・項目を洗い出すにあたっての基本的な考え方は以下のとおり。
 - 1) 建築部会の部会員の構成から建築計画に関わる点を対象とする。
 - 2) 建築・消防他、既に法規で規定されている項目以外の規定されていない箇所、項目を対象とする。
 - 3) 消防法の改正が実施されるにあたり、JATETとしての対応を建築部会がサポートする。

3) 機構部会

部会を月1回開催し、以下の活動を行う（3月、8月を除く）。必要により研究会を行う。

- (1) ライトブリッジ形状の調査・研究
ライトブリッジ形状の種類・用途について調査・研究を行う
- (2) 点吊装置型劇場についての調査・研究
吊物装置において従来の配列固定式と点吊装置による任意設置式について調査・比較・研究を行う
- (3) 海外及び国内の施設・工場見学
海外及び国内のメーカーの工場等を見学し、未来の機構を研究する
- (4) その他の事業において機構分野の分担・協力をする

4) 照明部会

部会を隔月1回開催し、以下の活動を行う。

- (1) 【継続：JATET-L-7190 の改正作業】
JATET-L-7190規格の改定作業を引き続き実施する。令和5年度は項目とチェックリストの確認までにとどまったため内容確定を進めていく。終わり次第、その他の章の内容についても確認と内容確定を進めていく。研究会を立ち上げることも検討し、規格発刊を目標として進める。
- (2) 【継続：表示内容の定義と統一】
令和5年度に取り組みを開始した、単色スポットライトの表示統一の完了を目標として進める。
この活動は、演出空間用LED照明器具表示規格委員会にて実施する。
- (3) 【継続：照明設備に関するEMCの調査研究】
昨年度は実験内容を検討し、ピンスポットのイグナイタの放射ノイズおよび電源投入時の伝導ノイズ、トランシーバーによる放射ノイズの実験を行った。実際の使用からは考えにくい状況も含め実験を行い、影響が出た結果も取得できた。引き続き、実験検証を進めていく。結果については、フォーラムの場などを活用して発表できるようにまとめていく。この活動は、演出空間用照明機器におけるEMC（電磁干渉等）調査研究会にて実施する。

5) 音響部会

部会を隔月1回開催し、以下の活動を行う。

音響設備に関する最新かつ有用な情報を幅広く収集し、JATET規格として取り纏める。また、その内容をJATET誌等において発表する。

- (1) 電源電圧の違いによるパワーアンプ出力信号への影響と漏れ電流についての調査研究
配電方式が単相3線式100V/200Vのとき、パワーアンプを100V、200V駆動した時の出力信号を計測し、その特性を評価する。
また、上記に加え音響機器の漏れ電流を観測し、信号への影響を評価する。
- (2) 音響電源200V使用時に安全に運用できるコネクタについての調査研究
音響電源200V使用時の安全性、汎用性の高い電源コネクタを調査・選定し、劇場等演出空間用推奨コネクタとして推奨するとともに“JATET-S-2050 移動及び持ち込音響機器における音響電源設備の安全基準”の改訂を進める為、実験等によりエビデンスを明らかにしていく。
- (3) 舞台連絡設備研究会
舞台連絡設備指針改定版の原稿の校正及び発行に向けた作業を進める。指針改定後の周知活動としてJATETフォーラム、他で発表の場を計画する。
- (4) マルチメディアIP伝送関連の調査
Dante、などMoIP伝送規格最新情報の調査を引き続き行う。
特に、昨今ネットワークオーディオとして汎用化してきたDanteについて、常設化に伴い、持ち込み機材の接続における問題点が指摘されてきた。この問題点の内容を洗い出し、アンケート等情報収集を行い、解決方法を探る。

6) 映像部会

部会及び研究会は、メンバーの活発なディスカッションにより、情報共有を深めるため月1回程度を目標に開催し、関連情報の収集を行い舞台演出／運営での有効活用と安全な運用を取り纏め、情報発信及び他部門との相互連携を行い活動する。

以下の研究テーマを中心に、最新動向の調査および研究会を実施する。

「研究会テーマ」

- ① 劇場メディアの拡張性について (部会を超えたテーマで調査し、他部会と共同研究を行う)
- ② 劇場映像装置について (その役割、機能、効果等、調査研究を行う)
- ③ 映像演出機器について (劇場に持ち込まれる機器等、調査研究を行う)

- ・それぞれのテーマに沿って、研究員を募り研究会を発足する。
- ・それぞれのテーマに沿って、専門分野の講師を招いて研究会を開催する。
- ・それぞれのテーマに沿って、該当する施設や企業、展示会等を見学し知見を深める。

- ・JATETフォーラム／技術展で、それぞれの研究成果を発表する。

7) 広報部会

部会を隔月1回開催し、以下の活動を行う。

- (1) JATETとその活動についての情報発信を図る。
JATETの持つ多くの劇場演出空間についての情報や人的資源を、広く社会のために資するための広報活動を展開し、社会のニーズを調査し、JATETとその活動範囲の拡大と活性化を図る。
JATETリーフレット（WEB版）の改訂を行う。またWEB上において英語版のJATET紹介を作成する。
- (2) JATET全体での事業について、広報分野を担当し協力する。
JATETの重要な広報媒体であるJATET誌の編集に際して、その内容がより読みやすくかつ魅力的なものであるよう、基本方針を検討作成し、編集担当部会と協力を行う。また、JATET主催行事の運営に協力する。
- (3) 具体的な活動としては、
 - ・ JATETの英文紹介ページの作成
前期に作成したJATETの英文紹介ページの案をさらに進めWEB掲載を行う。
- (4) JATET誌

- ・編集方針、内容、誌面構成等について検討し、方向性を探る。
- ・一部の記事については当部会で記事を作成する。

(5) Webサイトの検討

Webサイトの更新について協力し構成を検討する。

(6) 新会員の勧誘

減少傾向にある会員数を鑑み、対外アピールをしていく中で、組織、活動、特典を魅力的に見せる検討を行う。たとえば会員勧誘のための方策として、以前はプロに限定していた会員枠を専門学校生、大学の学生などが早い段階から興味を持ってもらい、安い値段で参加出来るような会員制度等を検討する。魅力的な劇場に関する講座を開催する。等を検討する。

4. JATET フォーラム

令和6年度は、昨年に続き JATET フォーラム 2024 を開催予定である。一方 JATET 技術展は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い開催を延期中で、今年度は開催を検討したが実施ができず、令和6年度は前回の開催から5年目となる。令和6年度は、JATET 技術展も開催したいが、そのやり方や会場の選定について議論しながら、柔軟に検討を進めていくこととする。

5. 国際交流

定款第4条（事業）第6項「内外関連機関・団体等との交流」に基づき、OISTAT（劇場芸術国際組織）日本センター及び韓国産業技術試験院（KTL）との交流、連携をより一層強化する。世界的なコロナ禍の影響を受けている中ではあるが、各国の状況を注視しながら、アジア5機関（韓国・中国・台湾・シンガポール・日本）による“Asia Entertainment Safety Alliance, AESA”「アジア・エンターテインメント・安全協議会」への参画を通じて、アジア諸国との交流を推進していく。

6. 国内交流

定款第4条（事業）第6項「内外関連機関・団体等との交流」に基づき、劇場演出空間施設とこれに関連する設備・機器の安全確保と技術の向上に関する関連機関・団体等との交流を促進する。

7. 発刊物

1) 機関誌JATET

機関誌JATETを年2回程度発行し、JATETが創立以来行ってきた事業や研究成果を広く社会に訴求する。また、各部会で研究、調査している最新技術や最新情報を広く社会に紹介する。

2) JATETジャーナル

JATETジャーナルは教育研修部会が実施する劇場施設見学会と連動し、ホームページ上で公開している。最新の劇場演出空間及びリニューアルされた劇場演出空間を広く全国に紹介する。

3) JATETニュース

JATETニュースは、最新のJATET情報や関連団体の活動を速報として、毎月1回を基本にメールマガジンとして発行する。

4) JATET リーフレット

公益法人としてのJATETの設立意義とその活動について広く社会に周知し、より多くの会員を獲得するため広報部会が作成し協会のホームページ上で公開したJATETリーフレット（WEB版）の改訂を行う。

以上